

# 助成申請書記入例

令和4年度チャレンジ・アシスト・プログラム 助成申請書

①グループ名		○×子どもとワクワクボランティアの会						
②所在地		(〒190-1234 ) 東京都立川市暁町1-1-1 e-mail: 1682higashi@tokyo.co.jp TEL 042 ( 123 ) 4567						
③代表者	氏名	東京子	年齢	22歳	職業 ○○大学△△学部 ××学科 □年			
	住所	(〒190-1234 ) 東京都立川市暁町1-1-1 e-mail: 1682higashi@tokyo.co.jp TEL 042 ( 123 ) 4567						
④連絡先 (代表者以外の連絡先)	氏名	夢島文子	日中連絡先		TEL 080 ( 1234 ) 5678			
	住所	(〒190-2234 ) 東京都八王子市日ノ出町2-2-3 e-mail: 1234yumefumi@tokyo.co.jp						
グループ・団体の概要	⑤結成(設立)		令和2年5月	⑥会員数	10名			
	⑦グループの主な活動内容		1 大学近隣の子供たちを対象とした「読み聞かせ」「遊ぼう会」の開催(年12回) 2 会報の発行: 活動報告と体験談を載せたミニコミ紙を年4回発行。児童館や学校に配布 3 スタッフミーティング: 月1回例会を開き、各取り組みの報告や課題について議論し、その議論に基づいて「読み聞かせ」や「遊ぼう会」のプログラムの検討 4 近隣の類似グループとの交流(年2回)					
	⑧今年度(2022年)の予算状況	収入	会費 年 <u>2,000</u> 円× <u>30</u> 名 = <u>60,000</u> 円			支出	※ 内容を簡単に記入	
			当事業の助成金	<u>200,000</u> 円			印刷費	100,000円
		助成金・補助金	<u>70,000</u> 円		通信費	50,000円		
		収益金(バサー等)	<u>50,000</u> 円		講師謝礼	50,000円		
		その他( )			会議費	40,000円		
		合計	<u>380,000</u> 円		消耗品	100,000円		
					繰越金	40,000円		
					合計	<u>380,000</u> 円		
⑨これまでに受けた、または現在受けている助成等	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容				
	橋記念財団	令和2年10月	50,000	「遊ぼう会」の活動費助成				
	立川市社会福祉協議会	令和3年6月	20,000	ミニコミ紙作成助成				

① 正式な名称を記入して下さい。法人格がある場合は「社団」「社福」「NPO」などを明記してください。

③ 学生の方は、職業欄に学校名・学部・学科名、学年を記入してください。

④ 必記: 代表者以外の連絡先、代表者と連絡がつかない場合や、緊急時などに繋がる番号を記入ください。

⑦ 申請書とは別にグループ紹介、活動内容の資料となる書類(A4版4ページ以内)を提出してください。

⑧ 予算書又は、前年度の決算書があれば添付してください。

申請する案件について	⑩事業名	親子で体験！「ワクワク・ドキドキワンダーランド」							
	⑪申請理由	<p>私たちのサークルでは、大学の近くに居住する多摩地区の子どもたちを対象に、放課後・週末に絵本の「読み聞かせ」や「遊ぼう会」などを開催しています。将来、資金の手立てがついたときの夢として、広く都内の子どもたちとその保護者を対象に、大規模な子どもの遊び場を提供するための企画を暖めてきました。</p> <p>今回、若者のグループのチャレンジする気持ちを支援する事業があると聞き、都内で広く子どもたちのために活動している他大学の学生グループにも呼びかけ、日替わりテーマ別遊び体験メニューを開発し、提供することで、自分たちの夢の実現に一歩踏み出したいので、以下の計画を申請します。</p>							
	⑫事業(活動)実施の予定日	開始／	令和4年	7月	28日	終了／	令和4年	10月	29日
	⑬内容および計画	<p>1 目的：現在、都内で子どもたちのために活動しているサークルに呼びかけ、親子の様々な体験機会を企画・提供することで企画者自身の実践力・社会貢献力を鍛え、参加者である子どもや親の人とかかわる力、触れ合う喜び知る契機とする。</p> <p>2 日程：令和4年10月8日、10月15日、10月22日、10月29日の全4回</p> <p>3 会場：都立夢の島公園及び東京スポーツ文化館</p> <p>4 内容：①子ども向け事業実施サークルに呼びかけ、プロジェクトチームを立ち上げる。 ②企画会議の実施（7月） ③PR活動（8月～10月初旬） ④会場づくり（9月） ⑤事業の実施（10月）</p> <p>a) 親子創造の広場 ダンボール等の身近なものを使った遊具作りと遊び（日替わりメニュー）</p> <p>b) ネイチャーアンドアドベンチャー広場 子供と保護者のアイデアを企画者がサポートし、お楽しみプログラムを企画・実施する。</p> <p>c) 昔遊び選手権 保護者が子供の頃に遊んだ遊びを紹介し、子供や他の保護者に指導し、体験する。</p> <p>d) 実施状況の報告書の作成・近隣教育委員会への送付。</p> <p>e) HPへ掲載</p> <p>5 募集・定員：①学生スタッフ 10人 ②親子参加者 100人（小学1～3年生とその親 50組）</p>							
	⑭必要な費用の内訳	項目	単価	数量	金額	うち自主財額	助成申請額		
	当日資料	50	250	12,500		12,500			
	チラシ印刷費	10	8,000	80,000		80,000			
	通信費	84	300	25,200		25,200			
	消耗品費			100,000		100,000			
	講師報償	10,000	5	50,000		50,000			
	合計		(円)	267,700		267,700			
	助成申請額	(千円未満を切り捨て)					267,000円		
⑮この助成の情報入手先	<p>1. 学校（学校名）</p> <p>2. ボランティア・センター（）</p> <p>3. インターネット（〇〇というボランティア・センターの情報サイトで知った。）</p> <p>4. その他（）</p> <p>（いずれか番号を○で囲み、具体的に記入して下さい）</p>								

⑪ 申請する事業で期待される効果、財源確保への努力状況等を記入してください。

⑫ 事業は令和5年2月28日までに終了してください。

⑬ 研修会・講座など開催の場合には、目的、対象、日程、会場、予定人数などを記入し、プログラム等を添付してください。

⑭ 報告書等の冊子類を作成する場合には、簡単な企画概要や目次など内容の分かるものを添付してください。

★「必要な費用の内訳」の欄には、今回申請する案件にかかる経費のみ記入してください。